



# 石川県 健民運動

《25. 12. 20第212号》

# かわら版

## 12月号

山里・金沢市 12.8

毎月7日は「健康の日」です。  
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～

**鼓動** サン・ジョルディの日 石川県書店商業組合 事務局 吉田 良一  
**健康体力づくり活動の推進**

- 第12回加賀地区健康クラブ普及育成研修会

**環境・文化活動の推進**

- 健民桜名所づくり運動「桜の保全管理講習会」県内3箇所で開催

**青少年健全育成活動の推進**

- 平成25年度「石川県子ども会連合会育成指導者研修会」開催

- 内閣府主催「社会貢献青少年表彰式・中央研修会」に参加

**健民運動活動紹介・奨励コーナー**

12月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

**薫風** 出会いと友情は海を越えて 石川県少年団体協議会副会長 牧野 哲栄

石川県健民運動推進本部  
石川県青少年ボランティアセンター

# 鼓動

## サン・ジョルディの日

石川県書店商業組合  
事務局 吉田 良一

〇〇の日、世の中には何々の日が沢山あります。メジャーなのがバレンタインデー、義理チョコや本命チョコで毎年お菓子屋さんは大盛り上がりです。最近では、コンビニ業界が節分に恵方巻きを勧めています。わが書店業界にも4月23日「サン・ジョルディの日」があるのをご存じですか？

20数年来PR活動を続けていますが、なかなか浸透していません。「サン・ジョルディの日」の由来をお話ししましょう。スペイン・カタルーニャ地方のサン・ジョルディ伝説をもとにしており、悪獣の生け贄に差し出された王女を救った伝説の騎士、サン・ジョルディを愛の守護聖人として讃えています。4月23日は彼が殉教した日で、何時しかこの日に【本】と【花】を贈りあって、愛する気持ちを伝え合うようになりました。また、この日は文豪として名高いセルヴァンテスとシェークスピアの命日でもあり、本との結びつきが強いためユネスコ総会において毎年4月23日を「世界本の日」とする宣言文が採択されています。近年の書店業界においては、デジタル化や大手ネット販売、挙げ句に教科書までもデジタル化が進行しています。紙の本は消えていく運命なのでしょうか？

町の本屋は淘汰されていくのでしょうか？雑誌一冊でも配達して頑張っている書店を勇気づけるためにも、日本でも特に文化的情緒にあふれた石川県で、4月23日、大切な人へ本を贈るという知的でロマンチックな習慣を広く普及したいものです。

4月23日は『サン・ジョルディの日』

『世界 本の日』

大切な人に愛と本を贈りましょう。

4月23日は世界本の日。  
本と花を贈り合う  
サン・ジョルディの日

人気絵本作家来場決定!  
ご本人が自作の絵本を読み聞かせます。

4/20日「サトシン」先生  
4/21日「宮西達也」先生

4月23日は世界本の日。サン・ジョルディの日。高まってきた本、大発見。サン・ジョルディの日。高まってきた本、大発見。サン・ジョルディの日。高まってきた本、大発見。

世界本の日。高まってきた本、大発見。サン・ジョルディの日。高まってきた本、大発見。

# 健康体力づくり活動の推進

## 第12回 加賀地区健康クラブ普及育成研修会 開催

平成26年初夏に開催する「加賀地区健康クラブ交歓大会」の全体演技での振り付けなどを研修する「第12回加賀地区健康クラブ育成研修会」が、10月30日（水）、加賀市山田町の加賀市スポーツセンターで開催されました。参加したのは金沢市から加賀市までの17の健康クラブで、指導的な立場にある269名の皆さん。午後1時からの開会式では、加賀健康クラブの滝野松雄会長が開会を宣言され、石川県健康クラブ協議会の田川修身会長が挨拶に立たれました。田川会長は「来年の地区交歓大会の全体演技をしっかりと勉強してください。」と参加者を激励されました。また、来賓として出席された旭直樹加賀市教育長は、「元気な皆さんが若者達に元気を与え、憧れをもたれるよう、加賀市では高齢者が子どもや若者と交流する機会を増やしている。」と歓迎の挨拶を述べられました。

今回の研修は、最初に「健民さわやか体操」で身体をほぐした後、歌唱「湯の町エレジー」と「これから音頭」を熱唱し、次年度の全体演技「これから音頭」の振り付けを学びました。ご指導は加賀健康クラブの株田<sup>かきたる</sup>馥先生でした。



田川修身健康クラブ協議会会長の開会挨拶



旭直樹教育長の歓迎の言葉



健民さわやか体操でウォーミングアップ



全体演技「これから音頭」の研修1



全体演技「これから音頭」の研修1

## 第19回 石川県健康クラブ会長等役員会 開催

石川県健康クラブ協議会の会長等役員会が、11月13日（水）、加賀市山代温泉「瑠璃光」で開催され、県内各健康クラブの会長等役員72人が参加されました。会議では今年度の活動報告や反省、会計報告等が行われ、田川修身会長からは次年度の交歓大会や育成研修会等の予定が説明されました。加賀健康クラブの滝野松雄会長からは次年度開催予定の第12回加賀地区健康クラブ交歓大会の準備状況等が説明されました。その後は活発な意見交換が行われました。



# 環境・文化活動の推進

## 健民桜名所づくり運動 桜の保安全管理講習会 県内3箇所で開催

地域の桜名所づくりと桜の美しい石川県づくりを、県民総ぐるみで推進する「健民桜名所づくり運動」を展開している健民運動推進本部では、10月から12月にかけて、七尾市、白山市、小松市の県内3地域で桜名所づくりアドバイザーによる「桜の保安全管理講習会」を開催いたしました。今回は、その概要をご紹介します。また、今年度は4地域において講習会を実施する予定で、最終の第4回は、3月に金沢市専光寺町のNPO法人犀川桜千本の会で開催する予定です。



七尾市直津町営農文化センター講習会場



実技指導

### 直津町内会 七尾市直津町

11月10日(日)午後1時30分から七尾市直津町営農文化センターにおいて、直津町町会の依頼による、本年度第1回目の「桜の保安全管理講習会」を開催しました。参加したのは地区の22名の皆さんと豊川実年会(七尾市)からの4名の計26名の皆さん。当日は、剪定や施肥、土作りなどのスライドを見ながら、日本花の会桜アドバイザーで樹木医の立花武志講師から説明を受けた後、センターとなりの3本の桜で実技講習を行いました。実技では、地上2メートルまでの枝の伐採と消毒薬「キニヌール」の塗布や、完熟堆肥の施肥などを実践的に学びました。講習後、桜のほか、サクランボや柿、柘植、ツツジなどの管理についても熱心な質問が相次ぎ、実践力が身に付いた講習となりました。



立花先生の講義と参加者の皆さん



### 蝶屋桜守の会 白山市鹿島町・蓮池町

11月18日(月)午後1時30分から白山市立蓮池公民館において、白山市立蝶屋公民館「蝶屋桜守の会」の依頼による本年度第2回の「桜の保安全管理講習会」を開催しました。白山市蓮池町は平成22年に桜名所づくりの「10万本植樹達成記念式典」を行い、記念の石碑を設置した地域です。講習会では、成長した重なり枝や逆枝を見分け、実際に剪定する実習を行いました。また、移植の際は、根についた土を取り除き、新たな土に移植することや根を切った時は枝も思い切って剪定することなど、実践的な方法を学びました。



瀬領町での実技指導の様子

### せせらぎの郷振興会 小松市瀬領町

12月1日(日)午後1時30分から小松市瀬領町の「せせらぎの郷振興会」の依頼による第3回の「桜の保安全管理講習会」を、せせらぎの郷研修室において開催しました。せせらぎの郷での講習会は昨年へ続き2回目で、「ひこばえ」や「幹ぶきの枝」などの昨年はなかった新たな課題の処理方法や将来の樹形を考へての剪定法を学びました。立花先生からは、「同地は将来本当の「桜の名所」となるだろう。」と高く評価され、17名の参加者の皆さんは自信を深めることができました。

◇ 今年度の「桜の保安全管理講習会」開催地区は、次のとおりです。

|   |           |                   |   |          |                   |
|---|-----------|-------------------|---|----------|-------------------|
| 1 | 11月10日(日) | 直津町内会(七尾市)        | 3 | 12月1日(日) | せせらぎの郷振興会(小松市)    |
| 2 | 11月18日(月) | 蝶屋公民館・蝶屋桜守の会(白山市) | 4 | 3月上旬     | NPO法人犀川桜千本の会(金沢市) |

# 青少年健全育成活動の推進

平成25年度 石川県子ども会連合会育成指導者研修会 開催

12月1日(日)、金沢市の「金沢市教育プラザ富樫」において、石川県子ども会連合会主催の「育成指導者研修会」が開催されました。この研修会には金沢市や小松市、七尾市など県内全域から、子ども会連合会会長など、各地域の指導的な立場にある方々約40人が参加しました。研修のテーマは「今時の子ども達のネット・ケータイ事情」。講師を務めたのは一般財団法人モバイルコンテンツ審査・運用機構(EMA)の事務局長吉岡良平先生。先生は携帯電話やスマートフォン、ゲーム機など、今時のネット環境が子ども達に与える影響などについて研究され、全国各地で講演をされています。研修会は午後2時15分から始まり、最初に県子ども会連合会の正木明会長が講師の紹介と挨拶をされ、続いて講演が行われました。

講演では、常時インターネットに接続できるのは日本だけあり、子ども達への影響が大きくなっている。外国でもネット依存など様々なトラブルが発生し、日本が先導して「国際ルール」を作るべき状況になっているとされ、機器や関係法を説明された上で、子ども達を守る「フィルタリング」など、ネット上の青少年保護や家庭での使用ルールづくりなどについて、詳細に説明されました。最新の状況を知るとともに子ども達への対応を考える大変有意義な研修となりました。



正木会長の開会あいさつ



吉岡良平講師



真剣に聴講する皆さん

## 青少年ボランティアセンター 広めよう！ふれあいの輪 刊行

健民運動推進本部では、次代を担う心身ともにたくましい青少年の育成をねらいとして、石川県青少年ボランティアセンターを設置しています。また、同センターでは平成7年度より、優れた団体と個人に「健民運動青少年ボランティア賞」を授与して、ボランティア活動の啓発と奨励に努めております。この度、ボランティア賞受賞者の皆さんの活動と地域のボランティアグループの一覧「いしかわの青少年ボランティア名簿」を併載した冊子「広めよう！ふれあいの輪(平成25年度)」を作成しましたので、県内すべての小・中・高校と特別支援学校、大学等に送付しました。高齢化や大規模災害など、多くの局面で青少年によるボランティア活動への期待がますます高まっています。是非ご活用ください。

### Volunteer 広めよう！ ふれあいの輪

平成25年度(第19回)

青少年ボランティア賞受賞者の活動紹介  
いしかわの青少年ボランティアグループ名簿



石川県健民運動推進本部  
石川県青少年ボランティアセンター

内閣府主催 **社会貢献青少年表彰式・中央研修会** に参加



表彰式で主催者挨拶する岡田広内閣府副大臣



11月25日のシンポジウム



社会貢献青年表彰式 副大臣が授与

明石千葉大名誉教授の基調講演

パネリスト 平岩氏 菊川氏

健民運動推進本部では、11月25日(月)、26日(火)の2日間に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合研修センターで開催された内閣府主催の「社会貢献青少年表彰式」及び「子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業中央研修会」に参加しました。一日目は研修に先立ち様々な分野で社会に貢献した11団体2個人に岡田広内閣府副大臣から表彰状が授与されました。

表彰式に続いて「青少年が生き生きと、幸せに生きる力を育む」をテーマに、千葉大名誉教授の明石要氏が基調講演した後、子どもたちの放課後の居場所や体験活動の場づくりについて、パネルディスカッションが行われました。パネリストは放課後NPOアフタースクール代表理事平岩国泰氏と九州大学理事の菊川律子氏でした。

第二日目は同会場で4分科会が開催され、本部では少年非行の防止及びいじめの社会的分析に関する分科会に参加しました。研修会終了後、「青少年育成都道府県民会議代表者会議(内閣府主催)」が開催され、内閣府加藤参事官から、次年度施策の説明があり、小山調査官からは、次年度予算の要求について説明がありました。代表者会議後、全国で19道府県が加盟する「全国青少年育成都道府県民会議連合会総会」が開催され、当本部は傍聴者として出席しました。総会では国民会議解散後の全国の青少年育成に向けて、新たな体制づくりについて熱心に協議がなされました。



分科会で熱心に研修する参加者



青少年育成都道府県民会議代表者会議



全国青少年育成都道府県民会議連合会総会

# 健民運動活動紹介・奨励コーナー

健康わくわく出前講座

金沢市地域包括支援センターきたづか



最後に利岡先生を囲んで、ポーズを決めました。

11月20日(水)、午前10時から金沢市間明町の米丸児童館で金沢市地域包括支援センター「きたづか」(代表・笠井栄太郎さん)の健康わくわく出前講座が開催されました。参加者は60歳から86歳までの11人。「きたづか」は、高齢者の自立支援として、体力づくりと認知症や介護予防を目的として、13年前から毎週、ボランティアによる踊りや民謡、手作り紙工芸などのお楽しみ講座を開催しており、今回は県レクリエーション協会の利岡理香先生をお招きして実施しました。当日は大雨警報で参加者は少なめでしたが、音楽療法と心理学の手法で、家でもできる、身体の芯を元気にする体操や武士や舞妓さんになりきる「なりきりゲーム」、「ことわざクイズ」などで大いに盛り上がりました。

「家庭の日」作品コンクール入選作品展

七尾会場・金沢会場



いしかわ子ども交流センター七尾館 12.1

本部では毎月第3日曜日の「家庭の日」の理解と啓発を図るため、家庭や家族に関する作文や絵画・ポスターを募集し、入選作品を表彰するとともに県庁をはじめ県下4会場で入選作品展を開催しています。12月1日から9日までは、いしかわ子ども交流センター七尾館、12月15日から24日までは、金沢市のいしかわ子ども交流センターで展示会を開催して多くの皆様にご覧いただきました。

子どもドリームフェスティバル

小松市立中海小学校の取組



中海小学校「表現会」での発表

小松市立中海小学校6年生のグループ「中海KIDS 23」が今年度の子どもドリームフェスティバルで、「石川県のツバメの歌をつくりたい」との夢の実現に向けて、11月16日(土)、校内で開催した「表現会」で、合唱「ツバメの歌」を披露しました。作詞・作曲は、子どもたちがアイデアを出し合い、校長先生がとりまとめたものです。1月19日の県立音楽堂での発表が期待されます。

## 谷本本部長が吉田修議員の質問に答えられました。 県議会報告

12月6日(金)の石川県議会での一般質問において、吉田修議員(県政石川議員会)から、来年50周年を迎える「健民運動」について、これまでの総括と今後の取り組みに関する質問がありました。健民運動推進本部本部長の谷本正憲県知事が次のようにご説明になりましたので、その概要をご紹介します。

### (谷本本部長)

東京オリンピックが開催されました昭和39年にスタートいたしました「健民運動」は、来年、50周年の節目を迎えることになりました。

この50年間を振り返ってみますと、昭和40年代の高度経済成長期における環境問題を背景に、子どもたちが自然を愛護する心を育むため、「ふるさとのツバメ総調査」を開始したわけであります。この調査は今年で42回目を数えまして、これだけ長期にわたって継続しているのは、全国でも本県だけとあいております。

また、平成7年の阪神・淡路大震災において、ボランティアが大きな力を発揮しましたことを受けまして、若者の社会貢献活動への自主的・積極的な参加を促すために「青少年ボランティア賞」が創設されました。

さらに、子どもたちの積極性や創造性を育むため、子どもたちの「夢」の実現を手助けする「子どもドリームフェスティバル事業」でありますとか、地域に埋もれた伝統行事や史跡等の文化的・歴史的資源を掘り起し、若い世代へ継承する「ふるさと文化再発見事業」など、多岐にわたる事業を行ってまいりました。

こういった事業は、社会の変化やその時々々の県民ニーズにこたえる形で、取り組んできたものでございまして、その「先見性」ゆえ、今日まで運動が継続したと理解しております。

今後の取組みとしましては、これまでと同様に、「先見性」や「継続性」を旨とし、県民自らの創意と実践による、県民総ぐるみの幅広い運動を展開していきたいと考えております。

その一つとして、ツバメ調査を通じた、子どもたちによる草の根の国際交流については、今後とも、交流の芽を育てていきたいと考えております。また、お年寄りお一人おひとりが、健康でいきいきと暮らせる社会の実現には、「健康体力づくり」が大切でありますことから、誰もが手軽にウォーキングできるコースを新たに選定するなど、いわば「健民運動」ならではの、きめ細やかな柔軟性のある活動を推進していきたいという思いがあるわけでございます。

50周年という節目を契機に、多くの県民の皆さん方の参加を得ながら、更なる「健民運動」の推進に努めてまいりたい。こういう思いであります。



12月6日県議会での谷本本部長

## 1月19日開催予定の 子どもドリームフェスティバル 打合せ開催

本部では、第16回子どもドリームフェスティバルの開催に向けての打合会を12月8日(日)午前10時から金沢市昭和町の「県立音楽堂」邦楽ホールにおいて開催いたしました。打合会には、発表予定の小松市立中海小学校の関係者など5団体の各実行委員会代表者が集まり、1月19日の発表の場である舞台や楽屋などを見学しました。また、出演順やリハーサル順、OA機器や大道具の使用などを打合せ、当日の流れつかんでいただきました。各出演団体ではこれから、子どもたちの夢の完成に向けて、演出などに工夫を凝らして本番に臨むこととなります。楽しみです。



県立音楽堂邦楽ホールステージ上での打合せ



## 第35回 少年の主張石川県大会 発表記録集 発行

健民運動推進本部では、9月28日(土)県青少年総合研修センターで開催した「少年の主張石川県大会」の発表を収録した「平成25年度(第35回)少年の主張石川県大会発表記録集〈伝えよう! 21世紀を生きる君たちの熱いメッセージ〉」を作成し、県内中学校や県青少年育成推進指導員を始めとする関係の皆さんに配布いたしました。この記録集には当日発表した16名の発表内容はもとより、審査員講評や審査基準、全国大会で内閣総理大臣賞を受賞した気仙沼市立小原木中学校3年の梶川裕登さんの主張「忘れないために」を掲載しています。記録集は、本部のHPにも掲載しており、現代を生きる中学生の理解を深めるとともに日本語表現の教材としても是非ご活用いただきたいと存じます。



## 1・2・3月の健民運動カレンダー

H25.12.20 現在

1 / 7 (火)  
~16 (木)

「家庭の日」作品コンクール入選作品展  
会場：いしかわ子ども交流センター小松館(小松市)  
主催：石川県健民運動推進本部

1 / 12 (日)

2014新春ゲートボール大会  
会場：野々市市さわやかホール、七尾市田鶴浜室内ゲートボール場  
中能登町鳥屋室内ゲートボール場  
主催：石川県ゲートボール協会

1 / 19 (日)

第16回子どもドリームフェスティバル  
会場：石川県立音楽堂邦楽ホール  
主催：石川県健民運動推進本部

1 / 31 (金)

石川県健民運動青少年ボランティア賞表彰式  
会場：石川県庁1109会議室  
主催：石川県健民運動推進本部

2 / 4 (火)

健康わくわく出前講座「千里浜健康クラブ」  
会場：千里浜公民館(羽咋市)  
主催：石川県健民運動推進本部

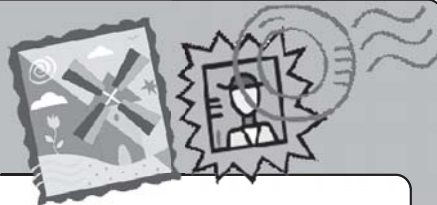
2 / 15 (土)

石川県スポーツ少年団指導者研修会  
会場：いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)  
主催：石川県スポーツ少年団

3 / 1 (土)  
~ 2 (日)

石川県スポーツ少年団「ジュニアリーダーズスクール」  
会場：国立能登青少年交流の家(羽咋市)  
主催：石川県スポーツ少年団

# 「あいむ」だより



## \* 収集物（12月分）\*

＜使用済み切手など＞ 国際交流課、総務事務管理室、医療対策課、環境政策課、  
少子化対策監室、厚生政策課、犀川河川愛護会、匿名の方1件の計8件。

ご協力ありがとうございました。ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

## お知らせ

### 平成25年度 石川県NPO起業実践講座開催事業 -つながり広がる石川の種を育てよう- 1月の予定

社会をちょっと良くするアイデアや行動力など、この講座を通じて学び合う場を提供します。

仲間を増やし、事例を学び合い、アイデアを磨き、企画をつくり、クラウドファンディングなどの財源や広報のコツなどの講座を金沢、加賀、能登で開催します。

| 「第7回 改善力 ～ アイデアを磨く ～ |  |                        |                             |
|----------------------|--|------------------------|-----------------------------|
| 会場                   | 金沢会場   | 加賀会場                   | 能登会場                        |
| 日時                   | 1月12日(日)10時                                  | 1月19日(日)9時30分          | 1月26日(日)10時                 |
| 場所                   | 石川県NPO活動支援センター<br>金沢市香林坊<br>2-4-30/ラモーダ7F    | 蘇梁館<br>加賀市熊坂町<br>ハ28-3 | 能登空港<br>輪島市三井町洲衛<br>10-11-1 |
| 定員                   | 15名  | 25名                    | 20名                         |
| 備考                   | ・各会場とも約2時間です。 ・参加料は無料です。<br>主催：(特)百万石ワールドカフェ |                        |                             |

#### 《詳細情報・参加のお問合せ・お申込み》

下記のURL、またはE-mailでお申込みください。席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

(特)百万石ワールドカフェ

http://www.hyakumangoku.org/ facebook:http://www.facebook.com/100m.worldcafe  
E-mail:support@hyakumangoku.org (お名前、団体に所属されている場合は団体名)

## 石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階  
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 http://www.ishikawa-npo.jp  
会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！(会議室使用料 無料)  
お問合せ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」まで、  
お気軽にどうぞ。  
香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



# 薫風

石川県少年団体協議会副会長 牧野 哲栄

(七尾市少年団体連絡協議会会長)

## 出会いと友情は海を越えて～七尾市・丸亀市少年少女交流～

七尾市と丸亀市は昭和49年に親善都市提携を行い、3年後の昭和52年7月に最初の交流が始まりました。当時は社会教育活動の中でも交流は大きな行事であり、双方が交流にかける期待も極めて大きなものでした。当時は受入施設も十分とはいえ、ホームステイ先を探したり、色々な場所をお借りしたりと、大勢の方々の協力をえて、手作りの心温まる交流を実施することができました。そして、これが両市子どもたちの交流の基盤となったのです。

市の財政状況の変化や市町村の合併等の事情から、交流が一時中断した時期もありましたが、関係者の熱心な取組と七尾市当局の温かいご指導と多大なご支援をいただき、ほどなく再開することができました。再開に当たっては、代表者としての責任の重さを再認識したことは申すまでもありません。

再開まもない頃のことです。丸亀市の子どもたちの様子が、以前とは違っていることに気づきました。高校生や中学生がリーダーとなって、参加した小学生をしっかり指導しているのです。それは大変たのもしい姿でした。企画段階から参画し、全て子どもたち主体で行事を行う姿に、社会教育のあるべき姿を見た思いがしました。そして、「七尾市でも高校生や中学生のリーダーを育成していかなければ」との声が起こり、七尾青少年リーダークラブが発足しました。今では小中高生合わせて50人近くがリーダークラブで活躍しています。現在、丸亀市との交流では両市のリーダーが互いに相談して交流を行い、以前のような大人の指導員中心の行事から、子どもたちが主役の交流に変わっています。そして、回を重ねるごとに子どもたちの意識も育ち、「観客意識」から、自ら生きた交流をめざす「主役意識」を持つようになっていきます。両市の子どもたちは、改めて自分たちの育った地域を認識し、古い文化、新しい文化を知り、地域をこえた友情を育てています。

この体験をとおして、わたくしたちは、改めて国内での交流事業の必要性を痛感するとともに、責任者として、常に事業を見直し、青少年育成指導方法や指導員の団結に一層の努力を傾けたいと考えています。



七尾市山びこ荘で記念撮影(H25.7.28)



丸亀市手島でキャンプファイヤー(H24.7.28)

1月19日(日)午後1時30分 県立音楽堂邦楽ホールで

## 第16回子どもドリームフェスティバル開催

お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！(入場無料)

第16回  
子どもドリーム  
フェスティバル

今年、子どもたちが力を合わせて実現した5つの夢の報告発表会を開催します！お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！(入場無料)

日時 平成26年1月19日(日) 13:30~15:45  
開場は12:30です

場所 石川県立音楽堂邦楽ホール

<5つの夢の内容>

- ①外国の子どもたちと We Are The World を歌いたい  
尚成小学校6年(小松市)
- ②現校舎での思い出をモザイクアートで残したい  
小丸山小学校5年生(七尾市)
- ③石川県のツバメの歌をつくりたい  
中海KIDS23(小松市)
- ④みんなで源平の戦いを表現し刈安の伝統を舞台で伝えたい  
刈安小学校(津幡町)
- ⑤カポエイラというブラジル文化をたくさんの人に見てもらいたい 知ってもらいたい  
ゲトカポエイラキッズ(金沢市)

みんなの夢が  
かなったよ！

主催 石川県 石川県健民運動推進本部 後援 石川県教育委員会

主催 石川県 石川県健民運動推進本部 後援 石川県教育委員会

### お知らせ

石川県健民運動青少年ボランティア賞表彰式が、平成26年1月31日(金)に実施されます。このため、「健民運動かわら版213号(H26年1月号)」は214号(H26年2月号)との合併号として、2月下旬に刊行する予定です。

発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366

石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

twitter @ kenmin\_undou